



防災通信

令和7年12月24日
文責：防災教育担当（北口）
NO：2

大掃除は「火災対策」のチャンス！

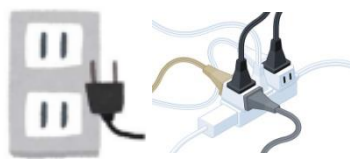
年末の大掃除、せっかくなら「火災予防」も一緒に進めてみませんか？実は、家の中の汚れやほこりを取り除くことは、火災のリスクを減らす大切な習慣です。今回は、大掃除のタイミングでチェックしたい火災予防のポイントを分かりやすくお伝えします。

1 『大掃除と一緒に火災予防！火災危険チェックシート』

※1つでもチェックがあると危険ですので改善しましょう！

（出典：札幌市消防局 予防部予防課）

①電気（配線等）



- ☐ コンセント周辺に埃がたまっている。
- ☐ たこ足配線をしている。
- ☐ 複数もしくは長いコードを束ねている。
- ☐ 家具の踏みつけ等でコードが破損している。

②コンロ



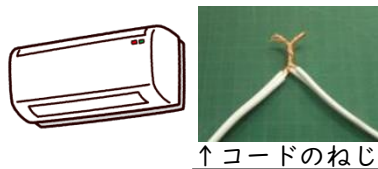
- ☐ コンロやレンジフードが油まみれ。
- ☐ コンロ周りに物が置かれている。
- ☐ コンロの火が壁に接している。
- ☐ ガスのゴムホースが損傷している。

③ストーブ



- ☐ 加熱部分や空気取り入れ口に埃がたまっている。
- ☐ 給油する燃料容器を近くに置いている。
- ☐ 衣服やタオルを近くに干している。

④エアコン



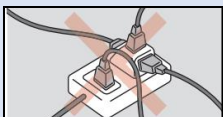
- ☐ モーターや配線などの通電する場所でもアルコール除菌液等の洗浄液を使って掃除している。
- ☐ ほかのコードとねじり接続して使用している

↑コードのねじり接続

2 『大掃除と一緒に火災予防！火災を防ぐためのポイント』

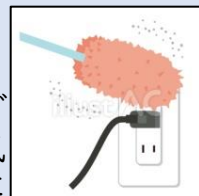
①電源やコンセント等の配線器具

コンセントの不必要なプラグは抜く



コンセントは同時に使用できる電流に制限があり、定格電流を超えるとコンセントや電源タップが発熱し、発火する恐れがあります。たこ足配線を避けたり、古いプラグのタップは使用せず処分したりすることが大切です。

コンセント周辺の埃を清掃



コンセントと電源プラグの隙間に溜まった埃が空気中の湿気を吸収し、次第に電気を通しやすい状態になり、ショートして発火することがあります。コンセントの定期的な清掃が必要です。

②ストーブ、コンロの周囲の整理や配置

ストーブ周りの掃除と配置



石油ストーブの底に埃がたまったことで発火する可能性があるため、定期的に掃除をしましょう。また、燃料容器や衣類は加熱機器から十分に離れた安全な場所に保管する、ストーブから離れた場所に洗濯物を干すなどして火災を予防しましょう。

コンロ周りの掃除と配置



コンロの清掃を行わずに、油などで汚れた状態のまま使い続けると、火災になる場合があります。コンロの油污れは定期的に清掃し、コンロ周りには物を置かないようにしましょう。コンロの火が壁に接しないよう位置を調整し、ガスホースの損傷が見られたら速やかに交換することで安全性を確保することが大切です。

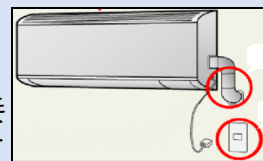
③エアコンの正しい掃除や配線

エアコンの掃除



モーターや配線など通電部分の掃除にアルコール消毒液や液体洗剤を使用すると、ショートや火災の原因になります。まず掃除を始める前に、エアコンの取扱説明書をよく読み、正しく掃除することが大切です。

エアコンの配線



他のコードとねじり接続してエアコンを使用すると、接続部分が接触不良で異常発熱し、火災が発生する可能性があります。電源コードを延長したり、電源コードの断線した部分に不適切な補修を行わないようにしましょう。

参考資料：札幌市消防局ウェブサイト、消費者庁ウェブサイト、住宅火災いのちを守る10のポイント

3 冬に気を付けたいその他のこと

1、低温やけどに注意

- ・カイロは「服の上から」にしましょう。
- ・こたつや電気毛布では眠らないようにしましょう。

2、雪・氷でのケガを防ごう

- ・すべりやすい道では「ゆっくり・ちいさく」歩きましょう。
- ・暗くなる前に帰りましょう。



4 保護者の皆様へ

- ・冬休み前に御家庭の非常持ち出しの点検をお願いします。
- ・災害時の避難場所・連絡手段を御家族で再確認してください。

今年も本校の防災教育への御理解と御協力をありがとうございました。来年も児童生徒の安心・安全を第一に、学校・御家庭で連携しながら取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。